

## シンポジウム

# 「対話の未来について考える」

大学生がゼロから作り上げた、全国規模の高校生向けサマースクール「UTSummer Hinohara」。哲学対話を批判的に取り入れつつ、自己発見や日常の相対化、主体性の育成など様々な要素を組み合わせた、対話型イベントの新しい形です。その1年間の軌跡をご報告すると共に、専門家を招いて対話や教育の未来について考えます。

### タイムテーブル

- 12:10 開場
- 12:30~13:15 【第一部】事業報告  
「UTSummer Hinohara 2018  
～1年間の軌跡～」
- 13:20~13:50 【第二部】個人発表  
「対話について考えたこと  
～ファシリテーター経験を通じて～」
- 14:00~15:00 【第三部】パネルディスカッション  
「対話について考える」

**12月8日(土)** 12:30~15:00

場所：東京大学本郷キャンパス

学生支援センター

ディスカッションルーム1

参加費：無料



お申し込みはこちらから：

### 団体概要



#### 東京大学 UTSummer

東京大学 UTSummer：高校生を対象に対話の場を提供する目的で2017年に結成された学生団体。

電通育英会・子ども夢基金の協賛、UTCPの後援のもとで、今年8月に東京都檜原村でサマースクール事業

「UTSummer Hinohara 2018」を実施。HP：utsummer.jp



### ゲスト登壇者



#### 梶谷真司

東京大学総合文化研究科教授

UTCPセンター長。UTSummer顧問。哲学対話の実践に早くから関わり、全国の高校の現場での経験を持つ。「高校生のための哲学サマースクール」オーガナイザー。近著に『考えるとはどういうことか』。



#### 角田 将太郎

NPO こども哲学・おとな哲学アーダコーダ

東京大学教養学部卒。野矢茂樹教授のもとで哲学を学び、現在は「楽しくて役に立つ哲学の学び」を提供する実践哲学者として活動している。



#### 古賀 裕也

かえつ有明中・高等学校 教諭

2011年、「哲学カフェ」の取り組みに関わりはじめる。現在、中等教育および教育哲学プラクティスについて、実践と研究を重ねている。

# 対話って、何だ。

— 高校生 × 対話 × サマースクール キャンプ —